

之々々後高友記要旨ノ漁説アリテ全塔時五  
十分散会セリ

友記

窪田文三

週休問題ハ吾カ國ヲ除テ他ノ各國ニ於テハ最  
早問題トナラガレ程度ニ於テ實行セラレ居レ  
ルカ此ノ問題ハ労働問題社會改善問題等  
シク考察セラル可クモノニシテ一昨昔ニ  
比シイテ諸和條約締結後特ニ喧シクナリ既ニ  
第一回ハ米國ワシントン府ニ於テ議決セラレ  
平和條約第十云篇四十八條ニ規定セラレタリ  
而レテ此ノ如クハ獨リ社會問題商業上ノ問題

、此ニ止ラス米ニ由ランテ人道ノ問題ニシ  
テ此ノ實現セラルトセラレガルトハ偏ニ其  
國家ノ人文ノ程度ヲ察知セラレト今時ニ又  
道徳上ノ問題ヲモ批判シ得ヘキ程度ナクナ  
リ云々

大迫元宗

サンダールスニ於テ四五年前ニ開催セラレタ  
ル萬國世界大會ニ於テ米國ノ丹爾負ニシテ僧  
正タリシ人説ヲ爲シテ日本が過去数十年來急  
速ノ進歩ヲ示シ来レルハ思切クテ日曜ノ制度  
ヲ採用セルニヨリト爲セリ日本ハ富ノ平均セ  
ル點極微性ニ富ノ點等地ニ多クノ原因アル  
可キニ慥ニ此ノ言ハ當レル點アリト思考ス而